# 一般社団法人 鳥取県作業療法士会

# 令和４年度　定時社員総会

# 議　案　書

期日：令和　４年　５月　１５日（日）　１０：００～１１：００

会場：倉吉未来中心 セミナールーム７

（倉吉市駄経寺町２１２－５　ＴＥＬ：０８５８－２３－５３９０）


一般社団法人　鳥 取 県 作 業 療 法 士 会

事　　務　　局

〒６８３－０８２５　鳥取県米子市錦海町３－３－２

ＹＭＣＡ米子医療福祉専門学校内

ＴＥＬ：０８０－２９３０－５０１０

ＭＡＩＬ：jimu@tottori-ot.or.jp

# 総　会　次　第

１．開会のことば
２．議 長 選 出
３．会 長 挨 拶
４．定 足 数 報 告
５．書 記 任 命
６．決 議 事 項　　第１号議案　令和３年度事業報告書承認の件
　　第２号議案　令和３年度決算報告書承認及び監査報告の件
　　第３号議案　その他
７．報 告 事 項　　令和４年度　事業計画及び予算
８．そ　の　他
９．議長、書記解任
１０．閉会のことば

## 目　　次


総 会 次 第　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
決 議 事 項　第１号議案　令和３年度事業報告承認の件・・・・・・・・・・・・・２
　事務局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
　財務部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
　規約委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
　倫理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
　総会議事運営委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
　選挙管理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
　渉外部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
　広報部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
　事業部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
　学術部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
　教育部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
　生活行為向上マネジメント委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　領域対策部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　地域包括ケアシステム対策委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　認知症対策委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
　その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
　第２号議案　令和３年度決算報告書承認及び監査報告の件・・・１５
　財産目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
　貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
　令和３年度決算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
　正味財産増減計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
　監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
　第３号議案　その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
報 告 事 項　令和４年度事業計画及び予算
　事務局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
　財務部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
　規約委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
　倫理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
　総会議事運営委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
　選挙管理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
　渉外部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
　広報部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
　事業部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
　学術部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
　教育部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
　生活行為向上マネジメント委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
　領域対策部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
　地域包括ケアシステム対策委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
　認知症対策委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
　令和４年度予算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
県士会組織図　県士会組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７

第１号議案　令和３年度　事業報告書承認の件

## 令和３年度　事業報告

【管理運営部門】

◎事務局

１．会議の開催

(1)令和３年度定時社員総会：令和３年５月 16 日(日)　倉吉未来中心セミナールーム

(2)理事会：第１回　令和３年４月 17 日(土)　サンライズひえづ及びWeb

第２回　令和３年５月 16 日(日)　倉吉未来中心セミナールーム及びWeb

第３回　令和３年７月 10 日(土)　サンライズひえづ及びWeb

第４回　令和３年９月 11 日(土)　サンライズひえづ及びWeb

第５回　令和３年 11 月 20 日(土)　サンライズひえづ及びWeb

第６回　令和４年１月 15 日(土)　サンライズひえづ及びWeb

第７回　令和４年３月５日(土)　サンライズひえづ及びWeb

(3)事務局会議：第１回　令和３年 12 月８日(水)　Web

(4)三役会議：第１回　令和３年６月 17 日(木)　Web

第２回　令和３年 11 月 30 日(火) YMCA 米子医療福祉専門学校

２．会員管理

(1)会員の入退会管理

６月より各種届け出先を事務局本部(YMCA 米子医療福祉専門学校)へ一本化し簡素化。会費納入状況と併せて会員情報を一括管理。

入退会状況（令和４年３月 31 日現在）

| 会　員　数 | | | | | 異　動　届 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正会員 | 自宅 | 休会 | 入会 | 退会 | 勤務先変更 | 転出 | 転入 |
| 541 名 | 20 名 | ５名 | 24 名 | 26 名 | 29 件 | ７件 | ４件 |

※うち 22 名、会費未納による退会

(2)賛助会員への対応：１件／(株)gene（R3 年度賛助会員、R4 年度も継続予定）

(3)入会促進活動：２月末に県内養成校(２校)へ入会案内を送付

３．文書管理

(1)内外文書の受取・保管（令和４年３月 31 日現在）

| 総数 | 会員 | OT 協会 | 他士会 | 行政（県・市） | その他県内団体 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 254 件 | 17 件 | 14 件 | 110 件 | 11 件 | 47 件 | 55 件 |

(2)会員への情報配信（令和４年３月 31 日現在）

各部局からの連絡、ホームページ更新情報を会員へ一斉メール配信／10 件

４．作業療法士に関係する全国組織との連携

(1)日本作業療法士協会

①日本作業療法士協会 2021 年度定時社員総会

令和３年５月 29 日(土)Web 開催／鳥取県代議員（永見 忠志、土井 宣幸、梅津 清司郎）

②47 都道府県委員会（年４回／Web 開催）

第１回　令和３年６月 12 日(土)／段 敬史、永見 忠志、土井 宣幸、菊本 理恵

第２回　令和３年９月４日(土)／段 敬史、土井 宣幸

第３回　令和３年 12 月 11 日(土)／段 敬史、土井 宣幸

第４回　令和４年３月 12 日(土)／段 敬史、土井 宣幸

③日本作業療法士協会からのアンケート等の回答／２件

④協会員＝士会員について適宜情報交換等実施

協会員＝士会員実現のための情報交換会：令和３年 11 月 19 日(金)Web／菊本 理恵、田中 寿美

５．その他法人の管理運営に関すること

①コロナ禍における定時社員総会及び県士会業務の実施等について情報収集・必要書類の準備

②法人市民税・県民税：減免申請手続きを行い、令和２年度分全額免除

③他県士会、他団体等からの問い合わせ対応
④役員改選に伴う諸手続き：法務局への変更登記申請、ホームページ及び関連書類の作成・修正
⑤備品の購入：パソコン、プリンター等
⑥広報誌イラスト使用についての対応
⑦弁護士顧問契約に関する諸手続き
⑧法令、制度変更に伴う書類等の見直し

## ◎　財務部

１．会費徴収について
(1)会費徴収
①会員数：541 名（内休会中 5 名、納入後の退会者は含まず）
②会費納入者数：527 名（他県士会での納入、納入後の転出者含む）
③会費未納者数：19 名（休会中 5 名含まず）
④徴収率：97％
(2)未納者への督促
①ホームページへ案内や県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT 協会）を掲載
②令和 3 年 12 月に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施
２．ボランティア保険加入手続き
114 名の加入手続きを行った
３．備品管理台帳の更新と各部備品の管理
各部から備品情報を収集し備品管理台帳を更新した
４．予算事務に関する特記事項
なし

## ◎　規約委員会

１．役員選出規程の変更について
立候補作業や投票作業を円滑にするために整備を行った。
役員選出規程第 6 条（立候補の届け出）及び第 7 条（立候補の締め切り）第 13 条（役員候補者投票の方法）の文言の削除を行う。

## ◎　倫理委員会

１．現職者共通研修会「職業倫理」の講演
(1)期日：令和 3 年 7 月 25 日　　11:10～12:40
(2)会場：オンライン開催
(3)講師：長田 貴徳氏（尾﨑病院）
２．相談への対応
(1)相談件数：0 件
３．一般社団法人日本作業療法士協会との連携
(1)一般社団法人日本作業療法士協会倫理委員会への報告はなし

## ◎　総会議事運営委員会

１．定時社員総会の議案書の作成。※議事録の作成（事務局）
２．定時社員総会の開催
(1)期日：令和 3 年 5 月 16 日（日）　9：30～10：30
(2)会場：倉吉未来中心　セミナールーム 3
(3)内容：令和 2 年度事業報告書承認
令和 2 年度決算報告書承認及び監査報告
令和 3 年度事業計画及び予算
役員改選（役員選出）
定款の変更について
(4)正会員総数：542 名（令和 3 年 5 月 16 日現在）

出席正会員数：373 名（会場出席 18 名、書面採決・委任状出席 355 名）
定款の変更に伴い、総社員の３分の２の出席もあり、開催に
対して影響はなかった。

議長：博愛病院　森 亮太氏

書記：老健はまなす　西村 亜美氏　　YMCA 米子医療福祉専門学校　菊本 理恵氏

◎　選挙管理委員会

１．委員会開催

(1)期日：令和３年９月 27 日

(2)内容：令和３年度鳥取県作業療法士会役員候補者選挙　活動振り返り

【事業部門】

◎　渉外部

１．関係機関との渉外、連絡・調整に関わること

(1)鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整

①令和３年度介護専門職研修事業　研修企画会議出席

令和３年 10 月８日（金）、令和４年３月４日（金）中島 直(尾崎病院)

②介護専門職研修講師調整

ⅰ「高齢者と楽しむレクリエーション」

西部地区　令和３年 12 月 19 日（金）於：淀江文化会館　加藤 敦美（サンライズ名和）

中部地区　コロナ禍にて中止　資料配布のみ　礒邊 みゆき（ル・サンテリオン）

東部地区　コロナ禍にて中止　資料配布のみ　坂本 一郎（さとに田園クリニック）

和田 晴菜（ふしの白寿苑）

ⅱ「高次脳機能障害」

令和３年７月 27 日（火）、令和４年１月 18 日（火）Web 開催　井尾 政美（三朝温泉病院）

(2)特別支援教育への協力

①会員、学校との連絡調整、実施集計など

ⅰ．センター的機能充実事業

鳥取養護学校　９回 24 件　来間 寿史（デイサービスつむぎ通所発達支援）

白兎養護学校　23 回 69 件　土肥 繁樹

倉吉養護学校　12 回 17 件（研修含）来間 寿史（デイサービスつむぎ通所発達支援）

倉吉養護学校　８回 20 件　西村 純一（清水病院）

米子養護学校　12 回約 70 件　門脇 達也（養和病院）

ⅱ．北栄町小学校教員研修　８月 25 日　来間寿史（デイサービスつむぎ通所発達支援）

②県、市町村教育委員会との協力連携調整

県教育委員会訪問　令和３年 12 月 23 日（木）来間 寿史（デイサービスつむぎ通所発達支援）

谷口 弘（中部療育園）

会員のセンター的機能充実事業への協力などについての意見交換。

③日本作業療法士協会との連携

教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会

令和４年３月 27 日（日）10：00～12：00　／Web

特別市会厭教育に関する最近の話題と作業療法士の参画、各都道府県士会の取り組み

来間 寿史（デイサービスつむぎ通所発達支援）、門脇 達也（養和病院）、谷 口弘（中部療育園）

(3)YMCA 米子医療福祉専門学校入学式、卒業式　　コロナ対応、(来賓不参加）により不参加

(4)若草学園協力

学園職員研修 15 回　来間 寿史（デイサービスつむぎ通所発達支援）

(5)学童保育鳥取県連絡協議会との連携協力

連絡協議会会員への作業療法についての研修

令和３年 12 月５日　来間 寿史（デイサービスつむぎ通所発達支援）

(6) 鳥取県障がい者スポーツ協会との連携　開催までの期間短くホームページ不掲載

(7)日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部　療育キャンプ協力　コロナ禍により中止

２．作業療法士の職務拡大に関すること
(1) 外部協力調査　11月実施

◎　広報部
１．士会ニュース
(1)発行回数：計4 回
(2)発行月（発行号数/担当施設）
2021年 6月（111号/鳥取大学医学部付属病院）
2021年 8月（112号/ウェルフェア北園渡辺病院）
2021年11月（113号/ 野島病院）
2022年 2月（114号/皆生温泉病院）
２．広報資料取り寄せ
2021年度は未実施。
３．啓発･広報活動
(1)資料配布：特別支援教育に関して
配布先：教育委員会･小学校･中学校･特別支援学校
配布数：213通
(2)Web座談会
従来の施設見学はコロナ禍のため未実施。その代替事業として計2回開催。
①第1回（2021年9月12日14:00～15:30）
・場所　Web（Zoom使用）
・内容　「作業療法って何だろう？」をテーマ
ミニ講義、各領域のプレゼンテーション、意見交換
・参加者　高校生3名、教職員1名の計4名
・協力員　菊本 理恵（YMCA米子医療福祉専門学校）、河田 修（野島病院）
前田 恵（倉吉病院）、和田 晴菜（ふしの白寿苑）、西東 佳奈（三朝温泉病院）
松本 弥南（こどものつむぎ1号）
松本 周三（訪問看護リハビリステーション三朝温泉病院）
②第2回（2022年1月9日14:00～16:00）
・場所　Web（Zoom使用）
・内容　「作業療法って何だろう？」をテーマ
ミニ講義、各領域のプレゼンテーション、意見交換
・参加者　高校生2名、養成校学生8名の計10名
アーカイブ視聴　1名（養成校学生）
・協力員　菊本 理恵（YMCA米子医療福祉専門学校）、前田 恵（倉吉病院）
和田 晴菜（ふしの白寿苑）、松本 弥南（こどものつむぎ1号）
西東 佳奈（三朝温泉病院）、衣笠 真理恵（鳥取県立中央病院）
松本 周三（訪問看護リハビリステーション三朝温泉病院）
(3)県民への啓発
従来通りの啓発キャンペーンは未実施。
４．作業療法推進月間
今年度未実施。
５．広報媒体の管理･運用
(1)鳥取県作業方法士会ホームページ（http://tottori ot.or.jp）
①更新数：64件　（2021年4月1日～2022年2月18日）
②運用について
・一部ページレイアウトのマイナーチェンジを実施（過去の更新情報を閲覧可能に）
・外部からの研修会情報について、Web サイト等運用ポリシーに則った掲載可否の判断を厳格化（2022年2月1日より）
(2)SNSの活用準備
・新規アカウント開設　Twitter

６．会議の開催
(1)部員間：メールでの意見集約を実施。
(2)Web 座談会の打ち合わせ：Zoom を使用し計 2 回開催。
プレゼン内容の確認、当日の進行の確認など。
・第 1 回（2021 年 9 月 8 日）　参加者：8 名
・第 2 回（2022 年 1 月 5 日）　参加者：5 名
７．日本作業療法士協会との連携
(1)協会広報部と各士会との意見交換会
2021 年 11 月 24 日 19:00～20:30　　参加者：松本 周三（三朝温泉病院）、河田 修（野島病院）
同規模の士会でいくつかグループ分けを行われ開催。
鳥取県、秋田県、滋賀県、和歌山県、香川県、協会広報部で意見交換。
８．データ管理委員会
特記した活動なし。
９．その他
(1)中国地区合同研修会で中国 5 県の広報部担当者と意見交換を実施（2021 年 11 月 21 日）。
(2)過去の県士会ニュースで使用したイラストへの著作権問題の一件
①概要：株式会社アートバンク（以下 A 社）に著作権のあるイラストを、所定の手続きを行わずに掲載されたのではないかという指摘が A 社よりあった。該当するものは 2018 年 1 月 29 日発行の県士会ニュース No.98。書面での回答を求められたが、A 社にいろいろな評判があるため、弁護士と共に対応することとなった。
②時系列
・2021 年 10 月 8 日　事務局へ配達証明郵便で A 社より書類が到着。
・2021 年 10 月 9～11 日　関係者より事実確認を実施。
・2021 年 10 月 15 日　弁護士に依頼となる。

## ◎　事業部

１．総会後研修会
(1)期日：令和 3 年 5 月 16 日
(2)開催方法：Web 形式
(3)内容：①鳥取県作業療法士会の目指すべき姿
講師：段 敬史（会長）
②各部局、委員会の取り組み報告
講師：各部局長、委員会代表
③生涯教育制度について
講師：北山 朋宏（教育部長）
２．中国地区作業療法士会合同研修会（岡山県主催）
(1)期日：令和 3 年 11 月 21 日
(2)開催方法：リモート研修（Zoom）
(3)内容：クローズド研修
テーマ：①事務局活動　②広報活動　③地域ケア会議への参画
④自動車運転への取り組み　⑤臨床実習指導者講習について
オープン研修
テーマ：自律的キャリア形成について
講　師：斎藤 尚志（株式会社 CDL キャリアデザイン研究所）
(4)クローズド研修出席者：段 敬史（介護老人保健施設　サンライズ名和）、菊本 理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）、土井 宣幸（介護老人保健施設　はまかぜ）、松本 周三（三朝温泉病院）、河田 修（野島病院）、永見 忠志（皆生温泉病院）、村瀬 良知（よなご脳神経クリニック）、坂本 一郎（さとに田園クリニック）、岩崎 大輔（養和病院）、小山 雅之（SOI STANCE）、北山 朋宏（錦海リハビリテーション病院）

３．厚生労働省指定臨床実習指導者講習会（鳥取県講習会）
(1)期日：令和３年12月18日（土)、19日（日）
(2)会場：鳥取県中部医師会立　三朝温泉病院（東伯郡三朝町山田690）
上記会場をキー局として、Web形式で開催。
(3)定員：60人
(4)内容：臨床実習指導者講習会に準ずる
(5)講師：高梨 悠一（YMCA米子医療福祉専門学校)、菊本 理恵（YMCA米子医療福祉専門学校)、北山 朋宏(錦海リハビリテーション病院)、川上 紘司(錦海リハビリテーション病院)、原田 伸吾(株式会社つむぎ)、梅津 清司郎(YMCA米子医療福祉専門学校)、宮崎 篤(済生会境港総合病院)、土井 宣幸（はまかぜ）
(6) 世話人：梅津 清司郎（YMCA米子医療福祉専門学校)、菊本 理恵（YMCA米子医療福祉専門学校）
北山 朋宏（錦海リハビリテーション病院)、幸田 真（藤井政雄記念病院）
小山 雅之（SOI STANCE)、高梨 悠一（YMCA米子医療福祉専門学校）
竹谷 豊（のじま)、田住 秀之（YMCA米子医療福祉専門学校）
土井 宣幸（はまかぜ)、中村 貴紀（三朝温泉病院）
原田 伸吾（株式会社つむぎ)、平野 正樹（錦海リハビリテーション病院）
松本 周三（三朝温泉病院)、宮崎 篤（済生会境港総合病院）
川上 紘司（錦海リハビリテーション病院)、景山 直史（皆生温泉病院）
末吉 良啓（さかい幸朋苑)、金山 雄気（仁風荘）
中島 直（尾﨑病院)、長谷川 徹（はまなす)、三浦 純（三朝温泉病院）
(7) 実行委員：小山 雅之（SOI STANCE)、北山 朋宏（錦海リハビリテーション病院）
高梨 悠一（YMCA米子医療福祉専門学校)、菊本 理恵（YMCA米子医療福祉専門学校）
松本 周三（三朝温泉病院)、川上 紘司（錦海リハビリテーション病院）
(8) 実行委員会
①第１回　令和３年６月９日
②第2～4回は事前通信テスト、打ち合わせとして開催
４．福祉用具相談支援システム合同業務連絡会
(1)期日：令和４年２月６日
(2)会場：Web形式での参加
(3)内容：①活動状況の報告、②ホームページリニューアルについてと意見・要望等
(4) 出席者：小山 雅之（SOI STANCE）

## ◎　学術部

１．テーマ別勉強会
(1)開催状況

| 地区 | テーマ別勉強会 | 開催回数 | 決算額（円） |
|---|---|---|---|
| 東部 | 東部地区全般勉強会 | 0 | 0 |
| 東・中部 | 特別支援教育（東部・中部） | 0 | 0 |
| 中部 | 中部精神科勉強会 | 5 | 9000 |
| | 中部地区合同勉強会 | 0 | 0 |
| 西部 | 西部精神科勉強会 | 0 | 0 |
| | 西部福祉用具・住環境勉強会 | 0 | 0 |
| | CVA勉強会 | 7 | 0 |
| | 作業を考える会 | 0 | 0 |
| | 治療演習・ADL分析勉強会 | 0 | 0 |
| | 特別支援教育（西部） | 1 | 0 |
| 総計 | | 11 | 9000 |

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況から例年と比べると開催回数は少ないが、Zoom を用いた勉強会など新たな工夫も見られた。

２．第 17 回鳥取県作業療法学会

(1)内容：

①学会テーマ：「社会との繋がりをつくるため、作業療法士にできること」

②特別講演Ⅰ：西方 浩一氏（文京学院大学 保健医療技術学部 准教授　作業療法士）

③特別講演Ⅱ：仲間 知穂氏（こども支援センターゆいまわる　作業療法士）

④ライブ演奏：TR（t88music & RUKA）

⑤一般演題：口述発表(8 演題)

(2)実行委員：

| | |
|---|---|
| 学会長 | 北山 朋宏（錦海リハビリテーション病院） |
| 実行委員長 | 原 美苗（なんぶ幸朋苑） |
| 副実行委員長 | 乾 かおり（仁風荘） |
| 広報 | 田村 理恵（鳥取大学医学部附属病院） |
| 会計 | 小山 雅之（SOI STANCE） |
| 会計 | 山本 香織（特養あいご）、 |
| 会計 | 菊本 理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校） |
| 演題・査読 | 村上 秀一（大山リハビリテーション病院） |
| 演題・査読 | 池淵 歓斗（米子病院） |
| 学会誌 | 村瀬 良知（よなご脳神経クリニック） |
| 会場・Zoom | 山本 未来（錦海リハビリテーション病院） |
| 学術部長・HP | 高梨 悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校） |

(3)実行委員会開催（第 17 回学会）

| 回 | 日付 | 場所 |
|---|---|---|
| 1 | 2021 年　4 月 2 日 | Web(Zoom) |
| 2 | 2021 年　6 月 4 日 | Web(Zoom) |
| 3 | 2021 年　7 月 5 日 | Web(Zoom) |
| 4 | 2021 年　8 月 11 日 | Web(Zoom) |
| 5 | 2021 年　9 月 8 日 | Web(Zoom) |
| 6 | 2021 年　9 月 26 日 | Web(Zoom) |
| 7 | 2021 年 10 月 11 日 | Web(Zoom) |

３．査読委員会

(1)査読委員：池淵 歓斗（米子病院）、松本 周三（三朝温泉病院）、
宮脇 淳（米子東病院）、平野 正樹（錦海リハビリテーション病院）、
高梨 悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(2)内容

①査読者の登録および管理

②査読者の選定と査読依頼

③査読結果の集約

（採択・不採択の最終判断は、学会長と査読委員長との協議で行った）

④県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正

※令和 3 年度の事業計画で挙げていた査読委員会はメールなどで情報交換を実施したため、査読委員会の開催はしていない.

４．第 18 回鳥取県作業療法学会

(1)実行委員の選出

(2) 実行委員会開催（第 18 回学会）

| 回 | 日付 | 場所 |
|---|---|---|
| 1 | 2021 年 11 月 18 日 | デイサービスつむぎ・Web(Zoom) |
| 2 | 2021 年 12 月　2 日 | デイサービスつむぎ・Web(Zoom) |
| 3 | 2021 年 12 月 23 日 | デイサービスつむぎ・Web(Zoom) |
| 4 | 2022 年　1 月 26 日 | デイサービスつむぎ・Web(Zoom) |

## ◎　教育部

１．生涯教育制度に関する管理

(1)ホームページ「生涯教育手帳の移行手続きが始まりました」更新あり

(2)生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行.認定ＯＴ10 名

(3)基礎研修ポイント管理・発行

①士会裁量基礎研修ポイント集計・発行予定

②現職者選択研修会ポイント発行

③鳥取県作業療法学会ポイント発行

④基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

２．生涯教育制度に関する開催

(1)現職者共通研修会

| 期日と会場 | 区分 | テ　ー　マ | 講　　師 | 認定数 |
|---|---|---|---|---|
| ①　前期<br>７月２５日（日）<br>Web 研修 | Ⅰ | 作業療法生涯教育概論 | 北山　朋宏：錦海リハ病院 | 20 |
| | | 職業倫理 | 長田　貴徳：尾崎病院 | 17 |
| | Ⅲ | 作業療法における協業・後輩育成 | 田住　秀之：ＹＭＣＡ米子 | 7 |
| | | 保健・医療・福祉と地域支援 | 長谷川　徹：はまなす | 12 |
| ②　後期<br>１０月１７日(日)<br>Web 研修 | Ⅱ | 作業療法の可能性 | 宮城　直子： | 18 |
| | | 事例報告と事例研究 | 梅津清司郎：ＹＭＣＡ米子 | 17 |
| | Ⅳ | 日本と世界の作業療法の動向 | 藤田　恵子：セラトピア | 11 |
| | | 実践のための作業療法研究 | 高梨　悠一：ＹＭＣＡ米子 | 11 |

３．生涯教育に関する研修会等の認定

(1)現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）

| 地区 | テーマ名 | 件数<br>(前年度) |
|---|---|---|
| 東部 | 全　　般 | 0(0) |
| 中部 | 中部合同 | 1(1) |
| | 精 神 科 | 0(0) |
| 西部 | 作業を考える | 0(0) |
| | Ｃ Ｖ Ａ | 1(0) |
| | 社会資源 | 0(0) |
| | 治療演習ＡＤＬ分析 | 0(0) |
| | 精 神 科 | 0(0) |
| 計 | | 2(1) |

(2)基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）

(3)ＳＩＧ等登録認定（SIG として認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）なし

４．日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

(1)生涯教育制度推進担当者会議会（Web 会議）出席 4 月 24 日、11 月 13 日、2 月 18 日

参加：北山朋宏

・研修システム（基礎研修ポイント申請）について情報を得た。

５．会員への情報伝達

(1)県士会ニュースへの掲載

・前期現職者共通研修会（Ⅰ・Ⅲ）のご案内

・後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内

・生涯教育手帳の移行について

(2)ホームページへの掲載

・2019年度末までの現職者共通研修10)事例報告の読み替え申請について

・事例報告登録制度について（重要なお知らせ）

・前期現職者共通研修会（Ⅰ・Ⅲ）のご案内

・後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内

・生涯教育手帳の移行手続きの更なる推進への協力について

・後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内（Web開催の決定）

・生涯教育手帳の移行手続きの期間延長について

６．他部との連携・協力

(1)学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など

(2)事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など

(3)領域対策部：現職者選択研修会など

(4)事務局：会員管理事務など

(5)特設委員会：士会主催研修会など

## ◎　生活行為向上マネジメント委員会

１．令和３年度鳥取県地域医療介護総合確保基金

介護予防の推進に資する OT,PT,ST 指導者育成事業

生活行為向上マネジメント啓発事業

補助金合計：￥470,000

２．委員会開催

第１回：令和３年４月 28 日　第２回：令和３年６月 23 日　第３回：令和３年８月７日

第４回：令和３年 10 月 17 日　第５回：令和４年 12 月 15 日　第６回：令和４年１月 12 日

第７回：令和４年２月 25 日

研修会前 Web 通信テスト：令和３年８月 13 日（第１回)、令和３年８月 14 日（第２回）

３．全国会議派遣

(1)生活行為向上マネジメント全国推進会議（Web）

第１回：令和３年 10 月 21 日

参加者：土井 宣幸（はまかぜ)、松本 周三（三朝温泉)、清水 里江子（尾﨑病院）
中村 貴紀（三朝温泉）

第２回：令和４年１月 26 日

参加者：土井 宣幸（はまかぜ)、松本 周三（三朝温泉)、清水 里江子（尾﨑病院）
中村 貴紀（三朝温泉)、竹谷 豊　（老健のじま）

第３回：令和４年３月 16 日

参加者：土井 宣幸（はまかぜ)、松本 周三（三朝温泉)、鬼木 徳子（やわらぎ）
清水 里江子（尾﨑病院)、中村 貴紀（三朝温泉）

内　容：Web 研修会の進め方、コロナ禍における啓発への取り組み、情報交換

４．派遣研修会

(1)生活行為向上マネジメント指導者研修会（Web 研修）

日　時：令和４年２月 26 日(土)～2 月 27 日（日）

開催形式：Zoom

内　容：MTDLP 指導者の役割・マネジメント、インテーク、基礎研修の進め方
事例発表のファシリテート（演習含む)、事例登録・事例審査（演習含む）

派遣会員：竹谷 豊（三朝温泉)、高橋 博子（ルサンテリオン東郷)、宮城 直子（自宅）
足立 貢一（はまかぜ)、藤井 慎一朗（はまかぜ)、日野 祐樹（養和病院）

５．県内研修会

(1)令和３年度　第１回MTDLP研修会実践者研修（Web研修）延期分

日　時：令和３年９月12日(日)　9：00～12:30

場　所：Zoom

参加者：参加者：14名　（報告者２名、聴講12名）

(2)令和３年度　第２回MTDLP研修会基礎研修（Web研修）

日　時：令和３年８月22日(日)　9：00～16：50

場　所：Zoom

参加者：参加者：11名

(3)令和３年度　第３回MTDLP研修会実践者研修（Web研修）

日　時：令和４年１月16日(日)　9：00～12：30

場　所：Zoom

参加者：参加者：15名（報告者２名、聴講13名）内他職種２名

## ◎領域対策部

１．現職者選択研修（老年期領域）

(1)期日：令和３年10月10日（日）9：20～16：30

(2)会場：Web開催

(3)内容：

| | |
|---|---|
| テーマ１：老年期の基礎知識 | 大西千香子：藤井政雄記念病院 |
| テーマ２：老年期作業療法の治療的枠組み | 梅津清司郎：YMCA米子医療福祉専門学校 |
| テーマ３：地域生活を支援する | 松澤良平：イムス板橋リハビリテーション病院 |
| テーマ４：老年期の作業療法実践トピックス | 松澤良平：イムス板橋リハビリテーション病院 |

(4)参加者：24名（県内21名）

(5)委員：坂本 一郎（さとに田園クリニック）、以後 翔平（ハワイ信生苑）、橋本 秀次（鳥取医療センター）、宮川 愛（さとに田園クリニック）、寺坂 恵梨（尾﨑病院）、衣笠 真理恵（中央病院）、三木 久美子（ウェルフェア北園渡辺病院）

## ◎　地域包括ケアシステム対策委員会

１．研修会開催

(1)地域包括ケアシステム人材育成別研修会

テーマ：介護普及展開事業と地域包括ケア会議を理解する

Web形式

①開催日：令和３年12月11日（土曜日）

②講　師：鳥取県作業療法士会　地域ケアシステム対策委員

原田 伸吾（株式会社つむぎ）　藤田 恵子（老健セラトピア）

永見 忠志（皆生温泉病院）

③内　容：オリエンテーション

介護予防活動普及展開事業・地域ケア会議

アセスメント・マネジメントに重要な１０項目

災害支援活動における作業療法士の役割

質疑応答

④参加者：12名

(2)地域包括ケアシステム大研修会

テーマ：地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割と実践報告

Web形式

①開催日：令和４年１月29日（土曜日）

②講　師：鳥取県作業療法士会　地域ケアシステム対策委員

原田 伸吾（株式会社つむぎ）　下石 勝哉（株式会社つむぎ）

村瀬 良知（よなご脳神経クリニック）永見 忠志（皆生温泉病院）

③内　容：オリエンテーション

POST の紹介と活動実績　～OT としてどう関わるか～
一般介護予防事業の種類と内容の理解
地域ケア会議実践報告
質疑応答
④参加者：18 名（うち 3 名は他職種）
(3)運転と作業療法研修会
①開催日：令和 3 年 9 月 19 日（日曜日）
②会　場：Web 開催
③内　容：高次脳機能障害と自動車運転支援
症例紹介・グループディスカッション
④講　師：岩崎 大輔（養和病院）　中村 貴紀（三朝温泉病院）
⑤参加者：22 名
２．災害時対策
(1)日本作業療法士協会災害シミュレーションに参加
9 月 25 日　災害設定は豪雨　士会役員 19 名　LINE とメールで実施
(2)県士会員に向けて地域包括ケア研修会において災害対策についての講義実施
３．担当者会議
(1) 西部地区委員会：7/2、7/29、8/23、9/9、10/14、11/11、12/3、1/14
全県委員会：7/29
自動車運転：5/21、7/8、8/31、12/17、2/22
４．パンフレット管理
地域包括ケアシステムに関するパンフレットの内容見直しを実施
コロナ禍におけるフレイル予防についてチラシの原案作成
次年度印刷・ホームページ掲載の予定
５．委員派遣
6/2～　全7回　鳥取市中央包括支援センター地域ケア会議出席（原田）
その他会員協力者　坂本 一郎（さとに田園クリニック）
佐野 和代（きずな訪問看護リハビリステーション）
下石 勝哉（株式会社つむぎ）
田中 啓介（株式会社つむぎ）
6/3　令和3年度第1回米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会　（永見）
6/23　「2021年度 地域支援事業に関する臨時 WEB 研修会（永見・藤田・原田・梅津）
7/27　令和3年度　第1回Eブロックミーティング（永見・藤田・原田）
8/5　指定教習所協会との定例会
8/26　令和3年度第1回米子市自立支援型地域ケア会議（村瀬）
8/30　令和3年度第1回米子市地域包括支援センター運営協議会（永見）
9/12　「2021年度 地域支援事業に関する臨時 WEB 研修会（藤田・原田・段）
10/22　令和3年度　第2回Eブロックミーティング（永見・藤田・原田）
11/20　「2021年度 地域支援事業に関する臨時 WEB 研修会（永見・藤田・原田）
11/22　令和3年度第2回米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会　（永見）
12/1　ふくよね在宅ケア連携の会(永見)
1/22　2021年度運転と作業療法委員会士会協力者会議（岩崎、中村）
1/25　令和3年度　第3回Eブロックミーティング（永見・藤田・原田）
1/22　第3回全国協力者会議　運転と作業療法（岩崎、中村）
2/16　令和3年度第2回米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会　（永見）
６.委員メンバー
全体責任者：永見 忠志（皆生温泉病院）
東部委員：原田 伸吾（デイサービスつむぎ）、　大渕 賢一（鳥取赤十字病院）、
藤原 あやな（鳥取生協病院）、湧島 恵理（鳥取療育園）
中部委員：藤田 恵子（老健セラトピア）　、三浦 純（三朝温泉病院）
西部委員：村瀬 良知（よなご脳神経クリニック）加藤 淳美（サンライズ名和）、

三上 将史（山陰労災病院）、
災害対策：藤田 恵子（セラトピア）
磯江 慎吾（とっとの杜こどもハビリテーションクリニック）
自動車運転研修会企画・実施メンバー
岩崎 大輔（養和病院）、中島 直（尾崎病院）
佐藤 亜美香（ウェルフェア北園渡辺病院）、中村 貴紀（三朝温泉病院）
福田 哲也（NHO 米子医療センター）、坂尻 信幸（鳥取県立中央病院）
影井 奈央（野島病院）、幸田 真（藤井政雄記念病院）
河場 航　（山陰労災病院）、原田 あゆ美（錦海リハビリテーション）
野々村 賢（博愛病院）、西東 佳奈（三朝温泉病院）
中井 佑実（野島病院）、木下 真実（鳥取生協病院）

## ◎　認知症対策委員会

１．認知症研修会

(1)第 18 回認知症研修会

①日　程：令和 3 年 11 月 14(日)10：00～12：10
②講　師:菅沼 一平 氏(大和大学保健医療学部 総合リハビリテーション学科教授/専門作業療法士)
③内　容：認知症の BPSD アセスメントの視点と介入
家族のエンパワメント支援の必要性・評価と介入
④形　態：Web／対面(YMCA 米子医療福祉専門学校)
⑤参加者：37 名

(2)第 19 回認知症研修会

研修Ⅰ-とっとり方式認知症予防プログラム／認知症 VR 体験会
①日　程：令和 4 年 2 月 11 日(金・祝)　10：00～12：30
②会　場：Web／対面（YMCA 米子医療福祉専門学校）
③内　容：とっとり方式認知症予防プログラムの概要、認知症 VR 体験
④講　師：仲田 奈生 氏(島根リハビリテーション学院)
⑤参加者：15 名

研修Ⅱ-OT 協会認知症アップデート研修
①日　程：令和 4 年 2 月 11 日(金・祝)　13：00～16：45
②会　場：Web
③内　容：世界および日本における認知症の課題、認知症の障害の本質と認知症原因疾患への理解
BPSD の原因、背景及び障害構造の理解、認知症作業療法のアセスメントとマネジメント
④講　師：横尾 和也(渡辺病院)、金山 雄気(仁風荘)、石丸 雅崇(渡辺病院)
⑤参加者：16 名

２．委員会開催

第 1 回：令和 3 年 6 月 14 日(月)　　第 2 回：令和 3 年 11 月 14 日(日)

３．令和 3 年度地域医療介護総合確保基金

事業名：チームケアリーダー育成研修事業　助成額：284,000 円

４．全国研修派遣/視察派遣

(1)OT 協会制度対策部「士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」
①日　程：令和 4 年 1 月 30 日(土) 13：00～16：00／Web
②内　容：政府の認知症施策／認知症疾患医療センター併設医療機関における作業療法士の役割
③派遣者：田住 秀之(YMCA 米子)、 山根 七恵(倉吉病院)、横尾 和也(渡辺病院)

(2)認知症疾患医療センター(倉吉病院)主催研修会-研修派遣
①日　程：令和 3 年 11 月 30(火)14：00～15：00／Web
②講　師：山口 智晴 氏（群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 教授）
③内　容：認知症初期集中支援チームの役割・運営について
④派遣者：梅津 清司郎（YMCA 米子)、菊本 理恵（YMCA 米子)、藤田 恵子(セラトピア)
山根 七恵(倉吉病院)、池本 真一(三喜苑)、幸田 真(藤井正雄記念病院)
大西 千香子(訪問リハビリテーションくらよし)

(3)視察派遣（WEBによる情報交換会）
①日　程：令和4年1月31 日(月)16：00～17：00／Web
②内　容：当事者の視点での支援・取り組みWeb視察（サービス付き高齢者向け住宅「銀木犀」）
③派遣者：田住 秀之(YMCA米子)、菊本 理恵(YMCA米子)

５．認知症研修会等修了状況(令和4年3月1日現在)
(1)認知症研修6テーマ受講修了者106名／OT協会アップデート研修受講修了者171名
(2)認知症初期集中支援チーム員研修受講者6名/伝達講習受講者90名(他職種含む)

６．事業協力派遣
(1)とっとり方式認知症予防プログラム普及啓発事業協力
①協力内容
ⅰ．とっとり方式認知症予防プログラム普及啓発事業研修会講師(県内7市町村)　派遣協力4名
ⅱ．県社会福祉協議会サロン世話人研修会(東部、中部、西部) 派遣協力2名
ⅲ．三朝町・北栄町とっとり方式認知症予防教室講師 派遣協力3名
ⅳ．日本認知症予防学会認知症予防専門士講座講師　派遣協力2名
②派遣協力者
田住 秀之(YMCA米子)、菊本 理恵(YMCA米子)、安井 和子(YMCA米子)、藤田 恵子(セラトピア)
仲田 奈生(島根リハビリテーション学院)、安井 愛美(大山リハビリテーション病院)
清山 茜(三朝温泉三喜苑)
(2)認知症初期集中支援チーム/チーム員会議
①東部：石丸 雅崇(渡辺病院)、坂本 一郎(さとに田園クリニック)
②中部：梅津 清司郎(YMCA米子)、藤田 恵子(セラトピア)、池本 真一(三喜苑)
幸田 真(藤井正雄記念病院)、大西 千香子(訪問リハビリテーションくらよし)
③西部：田住 秀之(YMCA米子)、菊本 理恵(YMCA米子)
(3)若年認知症の人と家族の集い「にっこりの会」
①協力内容
ⅰ．にっこりの会定例会協力　派遣協力9名
②派遣協力者
ⅰ．東部：横尾 和也(渡辺病院)
ⅱ．中部：小南 哲（野島病院)、遠藤 慎治(野島病院)
ⅲ．西部：岡野 元明(ライオンハート)、菊本 理恵(YMCA米子)
形部 美那子(錦海リハビリテーション病院)
(4)西部ろうあ仲間サロン介護予防教室講師：菊本 理恵(YMCA米子)
(5)中部地区検討会：山根 七恵(倉吉病院)
(6)米子市認知症施策を考える会：田住 秀之(YMCA米子)
(7)令和3年度老健事業認知症予防の実践に向けたガイドライン調査研究事業協力：田住 秀之(YMCA米子)
(8)RUNTOMO鳥取：襷リレーを中止し、認知症の人とその家族の想いをメッセージとして集めポスター等による啓発活動（思い集めプロジェクト）を実施
RUNTOMO鳥取実行委員：岡野 元明(ライオンハート)、高梨 悠一(YMCA米子)、菊本 理恵(YMCA米子)他

7.令和3年度認知症対策委員（14名）
(1)担当理事：田住 秀之(YMCA米子)
(2)西部委員：高梨 悠一(YMCA米子)、菊本 理恵(YMCA米子)、金山 雄気(養和病院)
金田 まるみ(西伯病院)、岡野 元明(ライオンハート)
(3)東部委員：石丸 雅崇(渡辺病院)、横尾 和也(渡辺病院)、岡田 圭祐(ル・サンテリオン鹿野)
(4)中部委員：山根 七恵(倉吉病院)、山本 麻未(倉吉病院)、小竹 佳奈(倉吉病院)、
遠藤 慎治(野島病院）、松本 生(三朝温泉病院)

**その他**

## 第 2 号議案　令和 3 年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録

貸借対照表

令和 3 年度決算書（全体）

令和 3 年度決算書（一般会計）

令和 3 年度決算書（特別会計）

正味財産増減計算表

## 財産目録

令和4年3月31日現在

（単位：円）

| | 科目 | | 金額 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 資産の部 | 1.流動資産 | | | | 5,111,991 |
| | 1）現金 | | 53,860 | 53,860 | |
| | 2）普通預金 | 鳥取銀行三柳支店 303931（財務） | 946,769 | | |
| | 普通預金 | 〃　三柳支店 303940（事務局） | 248,830 | | |
| | 普通預金 | 〃　三柳支店 334713（生活行為向上マネジメント） | 167,089 | | |
| | 普通預金 | 〃　三柳支店 303978（領域対策） | 171,065 | | |
| | 普通預金 | 〃　三柳支店 303987（広報） | 52,882 | | |
| | 普通預金 | 〃　三柳支店 312449（学術） | 103,887 | | |
| | 普通預金 | 〃　三柳支店 312458（地域包括ケア対策） | 10,726 | | |
| | 普通預金 | 〃　三柳支店 312467（認知症対策） | 32,580 | | |
| | 普通預金 | 〃　三柳支店 327989（事業部） | 44,155 | | |
| | 普通預金 | 〃　三柳支店 303950（ﾊﾟｽﾏｰｹｯﾄ入金） | 0 | | |
| | 郵便振替 | ゆうちょ銀行（年会費） | 3,280,148 | | |
| | 郵便振替 | ゆうちょ銀行（現職者共通研修参加費） | 0 | 5,058,131 | |
| | 3）立替金 | 未収入金 | 0 | 0 | |
| | 2.固定資産 | | | | 555,000 |
| | (1)特定資産 | | | | |
| | 1)啓発グッズ等積立預金 | ゆうちょ銀行（年会費口座） | 555,000 | 555,000 | |
| | 資産合計 | | | | 5,666,991 |
| 負債の部 | Ⅰ.流動負債 | | | | 142,151 |
| | 1)前受金 | 正会員会費　R4　6件 | 25,000 | 25,000 | |
| | 2）預り金 | 補助金の返金額 | 117,151 | 117,151 | |
| | 負債合計 | | | | 142,151 |
| 正味財産 | | | | | 5,524,840 |

鳥取県作業療法士会

## 貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

（単位：円）

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---|---|---|---|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 【流動資産】 | 【5,111,991】 | 【流動負債】 | 【142,151】 |
| 現金・預金 | 5,111,991 | 前受金 | 25,000 |
| | | 預り金 | 117,151 |
| 【固定資産】 | 【555,000】 | 負債合計 | 142,151 |
| （特定資産） | (555,000) | 純資産の部 | |
| 啓発グッズ積立預金 | 555,000 | 【剰余金】 | 【5,524,840】 |
| | | 啓発グッズ積立金 | 555,000 |
| | | 繰越利益剰余金 | 4,969,840 |
| | | 純資産合計 | 5,524,840 |
| 資産合計 | 5,666,991 | 負債・純資産合計 | 5,666,991 |

# 令和３年度決算書（全体）

自　令和　3年4月　1日
至　令和　4年3月31日

| 勘定科目 | | | |
|---|---|---|---|
| 大科目 | 予算額 | 決算額 | 差額 |
| Ⅰ　事業活動収支の部 | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | |
| 会費収入 | 2,080,000 | 2,105,000 | △ 25,000 |
| 研修会収入 | 440,000 | 334,509 | 105,491 |
| 補助金等の収入<br>（特別会計含む） | 1,347,805 | 1,347,805 | 0 |
| 雑収入 | 1,000 | 10 | 990 |
| 事業活動収入合計（A） | 3,868,805 | 3,787,324 | 81,481 |

（単位：円）

| 2. 事業活動支出 | | | |
|---|---|---|---|
| （1）管理運営部門 | | | |
| | 予算額 | 決算額 | 差額 |
| 事務局 | 898,000 | 660,365 | 237,635 |
| 財務部 | 243,000 | 216,087 | 26,913 |
| 規約委員会 | 16,000 | 0 | 16,000 |
| 倫理委員会 | 2,000 | 0 | 2,000 |
| 総会議事運営委員会 | 76,000 | 44,083 | 31,917 |
| 選挙管理委員会 | 46,000 | 3,000 | 43,000 |
| （2）事業費支出 | | | |
| 渉外部 | 5,000 | 1,906 | 3,094 |
| 広報部 | 438,000 | 347,118 | 90,882 |
| 事業部 | 635,000 | 378,955 | 256,045 |
| 学術部 | 498,000 | 217,012 | 280,988 |
| 教育部 | 159,000 | 75,422 | 83,578 |
| 領域対策部 | 223,000 | 82,935 | 140,065 |
| 地域包括ケア対策委員会 | 30,000 | 770 | 29,230 |
| 認知症対策委員会 | 96,000 | 4,993 | 91,007 |
| 生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費 | 498,042 | 498,042 | 0 |
| 地域包括ケアシステム研修事業 | 173,770 | 173,770 | 0 |
| チームケアリーダー育成研修事業 | 665,993 | 665,993 | 0 |
| 事業活動支出計　（B） | 4,702,805 | 3,370,451 | 1,332,354 |
| 事業活動収支差額<br>(C)=(A)-(B) | △ 834,000 | 416,873 | △ 1,250,873 |

| 勘定科目<br>中　　科　　目 | 予算額 | 決算額 | 差額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅱ　投資活動収支の部<br>1.投資活動収入 | | | | |
| 啓発グッズ等積立預金取崩収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 投資活動収入計　（D） | 0 | 0 | 0 | |
| 2.投資活動支出 | | | | |
| 啓発グッズ等積立預金取得支出 | 50,000 | 50,000 | 0 | 郵便振替預金内にて管理 |
| 投資活動支出計　（E） | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 投資活動収支差額(F)＝(D)－(E) | △ 50,000 | △ 50,000 | 0 | |
| Ⅲ　予備費支出　（G） | 200,000 | 0 | 200,000 | |
| 当期収支差額(H)＝(C)＋(F)－(G) | △ 1,084,000 | 366,873 | △ 1,450,873 | |
| 前期繰越収支差額（I） | 4,602,967 | 4,602,967 | 0 | |
| 次期繰越収支差額（J）＝（H）＋（I） | 3,518,967 | 4,969,840 | △ 1,450,873 | |

令和３年度決算書（一般会計）

自　令和　3年 4月 1日
至　令和　4年3月31日

| 勘定科目 | | | | | | | | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大科目 | 予算額 | 決算額 | 差額 | 小科目 | 予算額 | 決算額 | 差額 | |
| Ⅰ　事業活動収支の部 | | | | | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | | | | | |
| 会費収入 | 2,080,000 | 2,105,000 | △ 25,000 | 年会費 | 2,080,000 | 2,105,000 | △ 25,000 | 4,000円×510名、5,000円×13名 |
| 研修会収入 | 440,000 | 334,509 | 105,491 | 第17回県学会 | 160,000 | 100,899 | 59,101 | 999円×93名,1998円×4名 |
| | | | | 現職者共通研修 | 80,000 | 56,500 | 23,500 | 500円(1講義)×113名 |
| | | | | 現職者選択研修 | 80,000 | 54,000 | 26,000 | 2,000円×21名、4,000円×3名 |
| | | | | 臨床実習指導者講習会 | 120,000 | 123,110 | △ 3,110 | 3,000円×40名、3,110円×1名 |
| 補助金等の収入 | 10,000 | 10,000 | 0 | 助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | 賛助費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 賛助会員 ㈱gene |
| 雑収入 | 1,000 | 10 | 990 | 雑収入 | 1,000 | 10 | 990 | 預金利息 |
| 事業活動収入合計(A) | 2,531,000 | 2,449,519 | 81,481 | | 2,531,000 | 2,449,519 | 81,481 | |

２. 事業活動支出

（1）管理運営部門　　（単位：円）

| | 当初予算額 | 補正予算額 | 決算額 | 差額 | 勘 定 科 目 | 補正予算額 | 決算額 | 差額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務局 | 726,000 | 898,000 | 660,365 | 237,635 | 事務用品費 | 45,300 | 6,424 | 38,876 | 名刺3,256円、事務用品代1,168円、<br>登記住民票2,000円 |
| | | | | | 通　信　費 | 65,000 | 53,915 | 11,085 | 法人携帯使用料46,121円、<br>切手・振込7,794円 |
| | | | | | 会　議　費 | 10,200 | 0 | 10,200 | 会場費0円 |
| | | | | | 旅費　交通費 | 486,500 | 122,000 | 364,500 | 理事会交通費71,000円<br>代議員令和3年度定時社員総会7,500円<br>(2,500円×3名)<br>47都道府県委員会25,000円(4回)<br>協会＝士会情報交換5,000円(2名)<br>事務業務交通費(納税等)3,500円<br>事務局会議交通費1,000円(1回)<br>3役会議交通費6,000円(3回)<br>代表理事活動費3,000円(1回) |
| | | | | | 需　用　費 | 266,000 | 257,298 | 8,702 | 茶菓子938円、機器購入256,360円 |
| | | | | | 法人税及び事業税 | 10,000 | 10,000 | 0 | 法人県民税・年間0円<br>役員変更登記登録免許税10,000円 |
| | | | | | 負　担　金 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | 顧　問　料 | 0 | 66,000 | △ 66,000 | 弁護士顧問料 |
| | | | | | イラスト使用料 | 0 | 137,500 | △ 137,500 | イラスト使用料 |
| | | | | | 福利厚生費 | 15,000 | 7,228 | 7,772 | 電報卒業式3,614円、入学式3,614円 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 財務部 | 243,000 | 243,000 | 216,087 | 26,913 | 事務用品費 | 5,200 | 4,648 | 552 | 事務用品 |
| | | | | | 通　信　費 | 17,000 | 30,118 | △ 13,118 | 切手等4,940円、会計ソフト代7,345円<br>wifi通信料16,623円、他1,210円 |
| | | | | | 旅費　交通費 | 29,500 | 15,200 | 14,300 | 監査、財務部業務、他15,200円 |
| | | | | | 需　用　費 | 6,500 | 7,183 | △ 683 | 監査昼食3,500円<br>監査、部会開催他3,638円 |
| | | | | | 相　談　料 | 64,800 | 66,660 | △ 1,860 | 税理士相談料66,660円 |
| | | | | | 保　険　料 | 120,000 | 92,278 | 27,722 | ボランティア保険800円×114名、<br>手数料1,078円（2回） |
| 規約委員会 | 16,000 | 16,000 | 0 | 16,000 | 事務用品費 | 1,000 | 0 | 1,000 | 資料ファイル0円 |
| | | | | | 旅費　交通費 | 10,000 | 0 | 10,000 | 委員会交通費0円 |
| | | | | | 需　用　費 | 5,000 | 0 | 5,000 | 700円×0名 |
| 倫理委員会 | 2,000 | 2,000 | 0 | 2,000 | 事務用品費 | 1,000 | 0 | 1,000 | ファイルなど0円 |
| | | | | | 通　信　費 | 1,000 | 0 | 1,000 | 切手、送料、電話料金0円 |
| 総会議事運営委員会 | 76,000 | 76,000 | 44,083 | 31,917 | 事務用品費 | 2,000 | 191 | 2,000 | コピー代191円 |
| | | | | | 通　信　費 | 1,000 | 0 | 1,000 | |
| | | | | | 報　償　費 | 4,000 | 0 | 4,000 | 総会リモートホスト謝金0円 |
| | | | | | 会　議　費 | 15,000 | 12,830 | 0 | 総会会場費12,830円 |
| | | | | | 旅費　交通費 | 51,000 | 30,400 | 51,000 | 総会役員22,900円,委員旅費2,500円,<br>議長など旅費5,000円,委員会0回 |
| | | | | | 需　用　費 | 3,000 | 662 | 3,000 | 総会時662円 |
| 選挙管理委員会 | 46,000 | 46,000 | 3,000 | 43,000 | 事務用品費 | 20,000 | 0 | 20,000 | ファイル・付箋印刷用紙等 |
| | | | | | 会　議　費 | 0 | 0 | 0 | ※選挙開催時：別途計上 |
| | | | | | 旅費　交通費 | 21,000 | 3,000 | 18,000 | 定期委員会開催（500円×6名<br>3,000円　オンライン開催） |
| | | | | | 需　用　費 | 5,000 | 0 | 5,000 | ※選挙開催時：別途計上 |

（2）事業運営部門　　（単位：円）

| | 当初予算額 | 補正予算額 | 決算額 | 差額 | 勘 定 科 目 | 補正予算額 | 決算額 | 差額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 渉外部 | 8,000 | 5,000 | 1,906 | 3,094 | 事務用品費 | 1300 | 206 | 1,094 | 資料ファイル |
| | | | | | 通　信　費 | 1000 | 0 | 1,000 | |
| | | | | | 旅費　交通費 | 2,700 | 1,700 | 1,000 | 県教育委員会訪問1,200円×1名、<br>500円×1名　県医療推進協議会総会0円<br>YMCA米子卒業式交通費0円<br>筋ジスキャンプ参加者交通費0円,<br>部会議500円×0名 |
| 広報部 | 356,000 | 438,000 | 347,118 | 90,882 | 事務用品費 | 132,000 | 95,310 | 36,690 | ニュース送料45,444円（4回分）<br>web座談会チラシ印刷2,540円、<br>郵送料7,568円、消耗品440円<br>特別支援教育案内印刷・<br>封入作業委託（郵送料含）38,658円<br>上記手数料660円<br>ニュース費0円,HP費0円など,啓発：0円 |
| | | | | | 報　償　費 | 49,000 | 52,685 | △ 3,685 | we座談会当日講師49,000円<br>（3,000円×7名、4,000円×7名）<br>振込手数料3,685円 |
| | | | | | 需　用　費 | 172,000 | 159,003 | 12,997 | ニュース印刷委託費159,003円、<br>啓発：0円 |
| | | | | | ホームページ管理費 | 32,000 | 26,620 | 5,380 | 年額21,120円、<br>ドメイン更新料5,500円(年1回) |
| | | | | | 旅費　交通費 | 48,000 | 13,500 | 34,500 | web座談会打合せ：2回分6,500円、<br>web座談会当日：2回分7,000円<br>交通費0円（総会交通費）、啓発：0円 |
| | | | | | 予　備　費 | 5,000 | 0 | 5,000 | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業部 | 615,000 | 635,000 | 378,955 | 256,045 | 事務用品費 | 8,000 | 0 | 8000 | |
| | | | | | 通 信 費 | 12,000 | 13,949 | △ 1,949 | 切手代等：3,774円、<br>振込手数料：中国研修4,180円、<br>臨床実習5,335円、訪問リハ660円 |
| | | | | | 報 償 費 | 190,000 | 180,000 | 10000 | 総会後研修：5,000円、<br>臨床実習：175,000円 |
| | | | | | 会 議 費 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | 旅費 交通費 | 273,000 | 67,500 | 205500 | 中国研修：Web会議27,500円<br>臨床実習：Web会議12,500円、<br>Web会議日当（会議）13,500円、<br>Web会議日当（当日）11,500円<br>福祉用具：Web会議2,500円 |
| | | | | | 需 用 費 | 83,000 | 53,396 | 29604 | 臨床実習：委員昼食5,230円、<br>世話人昼食6,166円,資料代42,000円 |
| | | | | | 負 担 金 | 64,000 | 64,000 | 0 | 訪問リハ：54,000円<br>中国研修：10,000円 |
| | | | | | 返 金 | 0 | 110 | △ 110 | 参加費誤納分返金110円 |
| | | | | | 予 備 費 | 5,000 | 0 | 5000 | |
| 学術部 | 833,000 | 498,000 | 217,012 | 280,988 | 事務用品費 | 3,000 | 0 | 3,000 | 事務用品0円 |
| | | | | | 通 信 費 | 6,000 | 10,975 | △ 4,975 | 学会誌発送費用7,667円,<br>学会（郵送）2,638円, 郵送代670円 |
| | | | | | 報 償 費 | 39,000 | 39,770 | △ 770 | 講師web日当（1名）500円,<br>講師謝礼（4名）37,000円（税含）<br>座長web日当（3名）1,500円,<br>手数料770円 |
| | | | | | 会 議 費 | 5,000 | 5,000 | 0 | 会場費5,000円 |
| | | | | | 旅費 交通費 | 77,000 | 71,100 | 5,900 | 委員旅費（web日当）50,500円<br>次期学会旅費20,600円<br>査読委員旅費0円 |
| | | | | | 需 用 費 | 108,000 | 80,672 | 27,328 | 座長昼食（1名）459円,<br>実行委員昼食（11名）6,898円,<br>学会誌印刷製本 72,765円,<br>手数料550円 |
| | | | | | 勉強会活動費 | 250,000 | 9,495 | 240,505 | 勉強会活動費（中部精神）9,000円、<br>手数料495円, 研修支援0円 |
| | | | | | 予 備 費 | 10,000 | 0 | 10,000 | |
| 教育部 | 208,000 | 159,000 | 75,422 | 83,578 | 事務用品費 | 8,000 | 0 | 8000 | 事務用ファイル（購入無） |
| | | | | | 通 信 費 | 5,000 | 0 | 5000 | 振込手数料報償費にて計上 |
| | | | | | 報 償 費 | 72,000 | 65,880 | 6120 | 現職者講師48,000円（6,000円×8名）<br>事例報告指導12,000円（6,000円×2名）<br>現職者web日当5,000円（500円×10名）<br>※事例報告会含む<br>振込手数料880円 |
| | | | | | 会 議 費 | 5,000 | 0 | 5000 | 現職者共通研修 0円<br>MTDLP：0円 |
| | | | | | 旅費 交通費 | 29,000 | 1,000 | 28000 | 現職者共通前期0円、<br>後期1,000円（500円×2名）<br>MTDLP：WEB全県委員会0円<br>3委員会0円 |
| | | | | | 需 用 費 | 40,000 | 7,760 | 32240 | MTDLP：スタッフ食糧費：3,500円<br>講師茶菓子代：4,260円 |
| | | | | | 返 金 | 0 | 782 | △ 782 | MTDLP,R2年度基金返金¥782(県士会) |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 領域対策部 | 223,000 | 223,000 | 82,935 | 140,065 | 事務用品費 | 2,000 | 110 | 1,890 | クリップ |
| | | | | | 通 信 費 | 1,000 | 1,008 | △ 8 | 切手代1,008円 |
| | | | | | 報 償 費 | 115,000 | 52,525 | 62,475 | 報償費48,000円（県外36,000円、<br>県内6,000円×2名）<br>web日当1,500円、<br>振込手数料3,025円 |
| | | | | | 会 議 費 | 25,000 | 0 | 25,000 | |
| | | | | | 旅費 交通費 | 24,500 | 19,000 | 5,500 | スタッフweb日当19,000円<br>（計6回 詳細は別紙） |
| | | | | | 需 用 費 | 50,500 | 10,292 | 40,208 | 弁当代：講師昼食 1,937円、<br>委員昼食 2,765円<br>講師土産代：5,590円 |
| | | | | | 予 備 費 | 5,000 | 0 | 5,000 | |
| 地域包括ケア<br>対策委員会 | 30,000 | 30,000 | 770 | 29,230 | 需 用 費 | 30,000 | 0 | 30000 | 地域包括ケアパンフレット |
| | | | | | 返 金 | 0 | 770 | △ 770 | R2年度基金返金¥770(県士会) |
| 認知症対策委員会 | 111,000 | 96,000 | 4,993 | 91,007 | 需 用 費 | 96,000 | 4,536 | 91464 | 茶菓子代4,536円 |
| | | | | | 返 金 | 0 | 457 | △ 457 | R2年度基金返金¥457(県士会) |
| 事業活動支出計（B） | 3,493,000 | 3,365,000 | 2,032,646 | 1,332,354 | | | | | |
| 事業活動収支差額<br>（C)=(A)−(B) | 375,805 | 503,805 | 1,754,678 | | | | | | |

令和3年度決算書(特別会計)

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

| 科　　目 | 予算額 | 決算額 | 差額 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1. 事業活動収入 | | | | | |
| 鳥取県地域医療介護総合確保基金 | 1,250,000 | 1,250,000 | 0 | 生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費<br>地域包括ケアシステム研修事業費<br>チームケアリーダー育成研修事業 | 470,000<br>148,000<br>632,000 |
| 研修会参加費 | 73,500 | 73,500 | 0 | 生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業<br>地域包括ケアシステム研修事業<br>チームケアリーダー育成研修事業 | 19,500<br>25,000<br>29,000 |
| 負担金 | 14,305 | 14,305 | 0 | 生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業<br>地域包括ケアシステム研修事業<br>チームケアリーダー育成研修事業 | 8,542<br>770<br>4,993 |
| 収入合計 | 1,337,805 | 1,337,805 | 0 | | |

（単位：円）

| 科　　目 | 予算額 | 決算額 | 差額 | 小科目 | 金額 | 積算内訳 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2. 事業活動支出 | | | | | | |
| 生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費 | 498,042 | 498,042 | 0 | 報酬 | 72,000 | 【日当】￥72,000<br>・生活行為向上マネジメント研修会￥42,000<br>(8/22￥14,000+9/12￥16,000+1/16￥12,000)<br>・指導者研修￥30,000<br>(2/26￥15,000+2/27￥15,000) |
| | | | | 報償費 | 184,000 | 【講師謝金】￥184,000<br>(8/22￥96,000+9/12￥24,000+1/16￥64,000) |
| | | | | 旅費 | 119,400 | 【研修旅費】￥48,000<br>・指導者研修￥48,000<br>【委員会旅費】￥36,400<br>・3委員会￥1,500(4/15￥1,500)<br>・全県￥33,900<br>・事前通信テスト￥1,000(8/13￥500+8/14￥500)<br>【出張日当】￥35,000<br>・拡大連絡会議￥35,000<br>(10/21￥10,000+1/26￥12,500+3/16￥12,500) |
| | | | | 需用費 | 19,362 | 【研修会講師食糧費】￥1,400(8/22￥1,400)<br>【消耗品費】￥4,374 (8/5￥110+9/18<br>￥2,779+10/16￥1,485)<br>【印刷製本費】￥5,828<br>【講師茶菓子代】￥4,260(県士会)<br>【研修会スタッフ食糧費】￥3,500(県士会)<br>(8/22￥3,500) |
| | | | | 役務費 | 5,551 | 【通信運搬費】￥4,338<br>【手数料】￥1,213<br>(〈バスマーケット手数料〉8/22￥187+9/12<br>￥238+1/16￥238)<br>(〈講師費振込手数料〉1/17￥550) |
| | | | | 使用および賃借料 | 23,100 | 【会場費】￥990<br>(10/17￥990)<br>【zoom使用料】￥22,110 |
| | | | | 備品購入費 | 0 | |
| | | | | 負担金 | 0 | |
| | | | | 返金 | 74,629 | R2年度基金への返金済¥782(県士会)<br>R3年度基金への返金予定¥73,847(基金) |
| 地域包括ケアシステム研修事業 | 173,770 | 173,770 | 0 | 報酬 | 34,000 | 【日当：34,000円】<br>・大研修会8,000円<br>・人材育成研修会10,000円<br>・運転と作業療法研修会16,000円 |
| | | | | 報償費 | 29,000 | 【講師謝金：29,000円】<br>・大研修会9,000円<br>・人材育成研修会8,000円<br>・運転と作業療法研修会12,000円 |
| | | | | 旅費 | 97,000 | 【委員・スタッフ旅費：97,000円】<br>・地域包括委員会9,000円<br>・3委員会交通費1,000円<br>・運転と作業療法委員会(全県)16,000円<br>・運転と作業療法委員会(東部)6,000円<br>・運転と作業療法委員会(中部)7,500円<br>・運転と作業療法委員会(西部)4,000円<br>・自動車学校定例会500円<br>・ふくよね在宅ケア連携の会500円<br>・全国推進会議52,500円 |
| | | | | 需用費 | 1,424 | 【消耗品費：1,424円】<br>・西部地区委員会1,424円 |
| | | | | 役務費 | 850 | 【通信運搬費：850円】<br>・手数料850円 |
| | | | | 返金 | 11496 | R2年度基金への返金済¥770(県士会)<br>R3年度基金への返金予定¥10,726(基金) |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| チームケアリーダー育成研修事業 | 665,993 | 665,993 | 0 | 報酬 | 49,000 | 【研修スタッフ日当14,000円】<br>・第18回8,000円<br>・第19回6,000円<br>【研修派遣日当35,000円】<br>・初期集中研修17,500円<br>・協会意見交換会12,500円<br>・取り組み視察5,000円 |
| | | | | 報償費 | 44,000 | 【講師謝金44,000円】<br>・第18回24,000円<br>・第19回20,000円 |
| | | | | 旅費 | 33,000 | 【講師旅費2,000円】<br>・第19回2,000円<br>【委員・スタッフ旅費20,000円】<br>・委員会交通費9,000円<br>・研修会交通費3,500円<br>・委員業務交通費7,500円<br>【委員・スタッフ旅費11,000円】<br>・研修派遣・視察旅費11,000円 |
| | | | | 需用費 | 51,049 | 【食糧費4,536円】(県士会)<br>・茶菓子代4,536円<br>【消耗品16,130円】<br>・消耗品16,130円<br>【印刷製本費30,383円】<br>・印刷製本費30,383円 |
| | | | | 役務費 | 20,409 | 【通信運搬費15,682円】<br>・切手・封筒等15,682円<br>【手数料4,727円】<br>・手数料4,727円 |
| | | | | 使用および賃借料 | 87,500 | 【会場費5,000円】<br>・第19回5,000円<br>【研修機器使用料82,500円】<br>・研修機器使用料82,500円 |
| | | | | 備品購入費 | 0 | |
| | | | | 返金 | 381035 | R2年度基金への返金済¥457(県士会)<br>R3年度基金への返金済¥348,000(基金)<br>R3年度基金への返金予定¥32,578(基金) |
| 事業活動支出計 | 1,337,805 | 1,337,805 | 0 | | | |
| 事業活動収支差額 | 0 | 0 | 0 | | | |

正味財産増減計算書

自　令和3年4月1日
至　令和4年3月31日

| 勘定科目 | | 当年度 | 前年度 | 差額 |
|---|---|---|---|---|
| 大科目 | 中科目 | | | |
| Ⅰ　一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1)経常収益 | | | | |
| 事業収入 | | 334,509 | 162,500 | 172,009 |
| | 研修会収入 | 233,610 | 162,500 | 71,110 |
| | 学会収入 | 100,899 | 0 | 100,899 |
| | その他の収入 | 0 | 0 | 0 |
| 正会員収入 | | 2,115,000 | 2,610,000 | △ 495,000 |
| | 正会員会費収入 | 2,105,000 | 2,610,000 | △ 505,000 |
| | 賛助会員会費収入 | 10,000 | 0 | 0 |
| 補助金収入 | | 1,337,805 | 1,837,794 | △ 499,989 |
| | 補助金収入 | 1,337,805 | 1,837,794 | △ 499,989 |
| 雑収入 | | 10 | 17 | △ 7 |
| | 雑収入 | 10 | 17 | △ 7 |
| 経常収益計(A) | | 3,787,324 | 4,610,311 | △ 822,987 |

単位:(円)

| 勘定科目 | | 当年度 | 前年度 | 差額 |
|---|---|---|---|---|
| 大科目 | 中科目 | | | |
| (2)経常費用 | | | | |
| ①管理運営部門 | | 923,535 | 549,210 | 374,325 |
| | 事務局支出 | 660,365 | 303,240 | 357,125 |
| | 財務部支出 | 216,087 | 215,254 | 833 |
| | 規約委員会支出 | 0 | 0 | 0 |
| | 倫理委員会支出 | 0 | 0 | 0 |
| | 総会議事運営委員会支出 | 44,083 | 23,216 | 20,867 |
| | 選挙管理委員会支出 | 3,000 | 7,500 | -4,500 |
| ②事業運営部門 | | 2,446,916 | 2,662,094 | -215,178 |
| | 渉外部支出 | 1,906 | 1,644 | 262 |
| | 広報部支出 | 347,118 | 251,081 | 96,037 |
| | 事業部支出 | 378,955 | 387,012 | -8,057 |
| | 学術部支出 | 217,012 | 8,740 | 208,272 |
| | 教育部支出 | 75,422 | 43,089 | 32,333 |
| | 領域対策部支出 | 82,935 | 98,189 | -15,254 |
| | 地域包括ケア対策委員会支出 | 770 | 0 | 770 |
| | 認知症対策委員会支出 | 4,993 | 64,545 | -59,552 |
| | 生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費 | 498,042 | 635,749 | -137,707 |
| | 地域包括ケアシステム研修事業 | 173,770 | 227,500 | -53,730 |
| | チームケアリーダー育成研修事業 | 665,993 | 944,545 | -278,552 |
| 経常費用計(B) | | 3,370,451 | 3,211,304 | 159,147 |
| 当期経常増減額(C)=(A)-(B) | | 416,873 | 1,399,007 | -982,134 |
| 2. 経常外増減の部 | | | | |
| (1)経常外収益 | | ( 0) | ( 0) | ( 0) |
| 経常外収益計(D) | | 0 | 0 | 0 |
| (2)経常外費用 | | ( 0) | ( 0) | ( 0) |
| 経常外費用計(E) | | 0 | 0 | 0 |
| 当期外経常増減額(F)=(D)-(E) | | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F) | | 416,873 | 1,399,007 | -982,134 |
| 一般正味財産期首残高(H) | | 5,107,967 | 3,708,960 | 1,399,007 |
| 一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H) | | 5,524,840 | 5,107,967 | 416,873 |
| Ⅱ 正味財産期末残高 | | 5,524,840 | 5,107,967 | 416,873 |

監査報告書

# 監 査 報 告 書

令和４年４月10日

一般社団法人鳥取県作業療法士会
会 長　　段　敬史　様

一般社団法人鳥取県作業療法士会
監事　花倉　敏文　㊞
監事　江原　貴子　㊞
監事　小山　久美子　㊞

私たち監事は、令和３年度における鳥取県作業療法士会の事業を監査したので、その結果について以下の通り報告いたします。

Ⅰ．監査方法の概要

令和３年度に開催された理事会に出席し、事業の報告を聴取しました。また、令和３年度事業報告書、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計画書）、財産目録、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計画書）の附属明細書、収支計算書を閲覧するとともに、執行状況を聴取するなど、必要な監査手続きを実施しました。

Ⅱ．監査の結果

１．事業報告等の監査結果

(1)　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2)　業務の執行においても法令及び定款に従い、正しく遂行しているものと認めます。

２．計画書類及びその附属明細書の監査結果

計画書類及びその附属明細書は、法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

Ⅲ．監事の意見

令和３年度は、前年度に引き続きコロナ禍で制限を受けながらも、Web 開催等を使った事業活動を活発に行いました。予期せぬ問題にも遭遇しましたが、理事の適切な対応が行われ適正に事業が遂行できたと考えます。

令和４年度においても、会員の皆様には会費納入をはじめ、法人からの依頼や要請事項につきましては速やかに対応いただき、法人の事業が迅速かつ円滑に遂行できますことを望みます。

以上

## 第３号議案　その他

報告事項　令和４年度　事業計画及び予算

## 令和４年度　事業計画

【管理運営部門】

### ◎　事務局

１．会議の開催
　(1)令和４年度定時社員総会：令和４年５月 15 日(日)
　(2)理事会：総会時含め年７回
　(3)事務局会議
　(4)三役会議
２．会員管理
　(1)会員の入退会管理
　(2)賛助会員への対応：請求書の送付、連絡調整
　(3)入会促進活動：県内養成校へ入会案内と入会申込書の送付
３．文書管理
　(1)内外文書の受取・保管
　(2)会員への情報配信：事務局より登録いただいている会員メールアドレスへ適宜情報配信
４．作業療法士に関する全国組織との連携
　(1)日本作業療法士協会
　　①日本作業療法士協会令和４年度定時社員総会：代議員
　　②47 都道府県委員会(年 3～4 回)
　　③日本作業療法士会からのアンケート回答
　　④協会員＝士会員に向けての情報共有と発信、定款・諸規定の見直し
５．その他法人の管理運営に関すること
　(1)コロナ禍における一般社団法人の運営等について情報収集・必要書類の準備
　(2)法人市民税・県民税：減免申請手続き
　(3)他県士会、他団体等からの問い合わせ対応
　(4)弁護士顧問契約に関する諸手続き
　(5)法令、制度変更に伴う書類等の見直し

### ◎　財務部

１．会費徴収について
　(1)会費徴収
　(2)未納者への督促
２．ボランティア保険加入手続き
　県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う
３．備品管理台帳の更新と各部備品の管理
４．予算事務に関する特記事項
　(1)事務局
　　①顧問弁護士への年間相談料として 264,000 円計上する
　(2)広報部
　　①高校生、保護者、教員への啓発を目的とした Web 座談会運営費として 75,000 円計上する

### ◎　規約委員会

１．規約委員会の開催
２．施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業及び問い合せ。
３．各専門部との連携

◎　倫理委員会
１．現職者共通研修会「職業倫理」の講演
２．相談への対応
３．一般社団法人日本作業療法士協会との連携

◎　総会議事運営委員会
１．定時社員総会の議案書の作成
２．定時社員総会の開催
(1)期日：令和４年５月 15 日（日）　10：00～11：00
(2)会場：倉吉未来中心　セミナールーム３
(3)内容：令和３年度事業報告書承認
令和３年度事決算報告書承認及び監査報告
令和４年度事業計画及び予算
(4)その他：議長選出、書記任命

◎　選挙管理委員会
１．委員会の開催
新委員への引継ぎ、マニュアルの確認
２．選挙方法について検討
届け出、投票方法等について（ネット活用なども含め）

【事業部門】
◎　渉外部
１．関係機関との渉外、連絡・調整に関わること
(1)鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整
①介護専門職研修事業　研修企画会議
②介護専門研修　講師調整
(2)特別支援教育への協力
①会員、学校との連絡調整、実施集計など
②県、市町村教育委員会との連携
③日本作業療法士協会との連携
(3)YMCA 米子医療福祉専門学校卒業式参加
(4)若草学園協力
(5)学童保育鳥取県連絡協議会との連携・協力
(6)鳥取県障がい者スポーツ協会との連携
(7)日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部　療育キャンプ協力
(8)その他、関係機関との協力・連携・調整、及び依頼事業への対応
２．作業療法士の職域拡大に関すること
(1)外部協力調査

◎　広報部
１．士会ニュース
(1)発行回数　年４回　115 号～118 号
(2)内容について　再考を予定。
２．広報資料取り寄せ
日本作業療法協会より必要資料や広報媒体を適宜取り寄せ（予定）
３．啓発･広報活動
(1)資料配布
養成校学生向けに士会活動と入会案内の資料作成を検討。

(2)WEB 座談会
コロナ禍であり従来通りの施設見学の開催は予定せず。
2021 年度事業と同様・同規模のものを予定するが、内容については再考の可能性あり。
(3)県民への啓発
対面での啓発キャンペーンは実施を予定せず。その他、(例：作業療法の日（9 月 25 日）に向けて等)何かしらの啓発事業を行えないか検討する。
(4)作業療法推進月間
内容について検討。
５．広報媒体の管理・運用
(1)県士会ホームページの管理・運用
サイトデザインについて検討を予定。
(2)SNS
活用・運用方法の検討。使用する媒体の検討。
６．日本作業療法士協会との連携
会議への参加など必要に応じて対応。
７．データ管理委員会
在り方の見直しを予定。
８．その他
県士会活動における広報ルールの再策定を検討。

**◎　事業部**
１．訪問地域リーダー会議
２．臨床実習指導者講習会
３．中国地区作業療法士会合同研修会
４．訪問リハビリテーション実務者研修会

**◎　学術部**
１．テーマ別勉強会
(1)東部地区　　1 テーマ　東部地区全般勉強会
(2)東・中部地区　1 テーマ　特別支援教育（東部・中部）
(3)中部地区　　2 テーマ　中部精神科勉強会、中部地区合同勉強会
(4)西部地区　　5 テーマ　西部精神科勉強会、西部福祉用具・住環境勉強会、CVA 勉強会、作業を考える会、特別支援教育（西部）

２．第 18 回鳥取県作業療法学会
(1)会期：令和 4 年 11 月 5 日（土)・6 日（日）　2 日間開催予定
(2)会場：鳥取県立福祉人材研修センター・Zoom 利用でのハイブリッド開催予定
(3)内容：
①学会テーマ：「パートナーシップを結んで誰 1 人取り残さないまちづくり～SDGs と作業療法の親和性を考える～」
②学会長講演：下石勝哉
③特別講演：5 つ程度を予定
④イベント：現在調整中
⑤一般演題：口述発表のみ（事例登録としての発表も可能）
(4)実行委員：
学会長　　下石勝哉（株式会社つむぎ）
実行委員長　　長田　啓（株式会社つむぎ）
副実行委員長　　原田伸吾（株式会社つむぎ）
広報・接待　　小林　楽（ウェルフェア北園渡辺病院）

広報・接待　　鳥飼桃子（株式会社つむぎ）
会計　　衣笠真理恵（鳥取県立中央病院）
会場　　福代　淳（）
学会誌　　藤原礼奈（鳥取生協病院）
演題　　西村佑子（鳥取生協病院）
査読　　池淵歓斗（米子病院）
Web/Zoom　　山本未来（錦海リハビリテーション病院）
学術部長/広報　　高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

３．第 19 回鳥取県作業療法学会
(1)学会長の選出
(2)実行委員会委員の選出
(3)実行委員会の開催

４．査読委員会
(1)査読委員：池淵歓斗（米子病院）、松本周三（三朝温泉病院）、
宮脇淳（米子東病院）、平野正樹（錦海リハビリテーション病院）、
高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）
(2)内容
①査読委員会の開催（年 4 回）
②査読者登録制度の作成（査読者の基準作成）
③査読者の登録および管理
④査読者の選定と査読依頼
⑤査読結果の集約
（＊採択・不採択の最終判断は、学会長と査読委員長との協議で行う）
⑥県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正

## ◎　教育部

１．生涯教育制度に関する管理
(1)ホームページ「生涯教育制度について」更新
(2)基礎研修ポイント管理・発行
①士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
②現職者共通研修修了ポイント発行
③現職者選択研修会ポイント発行
④鳥取県作業療法学会ポイント発行
⑤基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行
２．生涯教育制度に関する開催
現職者共通研修会

| 期日と会場（予定） | 区分 | テ　ー　マ | 講　師（予定） |
|---|---|---|---|
| ①　前期<br>6 月 26 日（日）<br>会場：Web 研修 | Ⅰ | 作業療法生涯教育概論 | 北山 朋宏：錦海リハ病院 |
| | | 職業倫理 | 長田 貴徳：尾崎病院 |
| | Ⅲ | 保健・医療・福祉と地域支援 | 長谷川 徹：はまなす |
| | | 作業療法における協業・後輩育成 | 田住 秀之：YMCA 米子 |
| ②　後期<br>10 月 16 日（日）<br>会場：西部<br>YMCA 米子 | Ⅱ | 作業療法の可能性 | 宮城 直子：自宅 |
| | | 事例報告と事例研究 | 梅津 清司郎：YMCA 米子 |
| | Ⅳ | 日本と世界の作業療法の動向 | 藤田 恵子：セラトピア |
| | | 実践のための作業療法研究 | 高梨 悠一：YMCA 米子 |

３．生涯教育に関する研修会等の認定
(1)現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会より「事例報告会認定申請」を行い、

教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）
(2)基礎研修会認定（テーマ別勉強会より申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
(3)SIG 等登録認定（SIG として認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）
４．日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者
(1)生涯教育制度推進担当者会議会への出席
(2)生涯教育受講登録システムへの登録
５．会員への情報伝達
(1)県士会ニュースへの掲載
(2)ホームページへの掲載
(3)その他
６．他部との連携・協力
(1)学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
(2)事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
(3)領域対策部：現職者選択研修会など
(4)事務局：会員管理事務など
(5)特設委員会：士会主催研修会など

◎　生活行為向上マネジメント委員会
１．令和 3 年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業
２．生活行為向上マネジメント委員会の開催
(1)全県委員会（年 7 回）
(2)業務内容
①生活行為向上マネジメント研修会　企画・運営
生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
②生活行為向上マネジメント広報活動
③生活行為向上マネジメント指導者養成

◎　領域別対策部
１．現職者選択研修（精神障害領域）
(1)期日：令和 4 年 10 月（未定）
(2)会場：(未定)
(3)内容：

| | |
|---|---|
| テーマ 1：精神障害作業療法の基礎知識 | 未定 |
| テーマ 2：精神障害作業療法の展開方法 | 未定 |
| テーマ 3：精神障害作業療法の実践 | 未定 |
| テーマ 4：精神障害作業療法関連のトピックス | 未定 |

◎　地域包括ケアシステム対策委員会
１．研修会開催
(1)地域包括ケアシステム人材育成別研修会（１回）
(2)地域包括ケアシステム大研修会（１回）
(3)運転と作業療法研修会（基礎編）
(4)運転と作業療法研修会（応用編）
２．災害時対応マニュアルの作成協議
日本作業療法士協会災害シミュレーション
県内連絡・報告系統の作成
災害時対応マニュアルの検討
他県士会・多団体との災害時連携の確認（徳島県・POST・JRAT など）
３．地域包括ケアシステム協力体制の整備推進

地域活動に対する外部からの依頼に対応可能な協力施設・委員のリスト化
各地域の現状確認・情報共有・課題抽出と対応の検討、実施

４．パンフレット・チラシ管理

(1)パンフレット内容の見直しと印刷
県・各地域包括支援センター・県士会員・その他各関係機関など状況に合わせ配布

(2)フレイル予防啓発チラシのホームページ上への掲載

５．移動支援アンケート実施

６．担当者会議

(1)地域包括ケア委員会６回
自動車運転研修会全体会５回　　地区別５回

(2)委員メンバー選出

全体責任者：永見 忠志（皆生温泉病院）
東部委員：原田 伸吾（デイサービスつむぎ）、 大渕 賢一（鳥取赤十字病院）、
藤原 あやな（鳥取赤十字病院）、湧島 恵理（鳥取療育園）
中部委員：藤田 恵子（老健セラトピア）、三浦 純（三朝温泉病院）
西部委員：村瀬 良知（米子脳神経クリニック）、加藤 淳美（サンライズ名和）、
三上 将史（山陰労災病院）
災害対策：藤田 恵子（セラトピア）、永見 忠志（皆生温泉病院）
礒江 慎吾（とっとの杜こどもハビリテーションクリニック）
自動車運転研修会企画・実施メンバー
岩崎 大輔（養和病院）、中島 直（尾﨑病院）
佐藤 亜美香（ウェルフェア北園渡辺病院）、中村 貴紀（三朝温泉病院）
福田 哲也（NHO 米子医療センター）、坂尻 信幸（鳥取県立中央病院）
影井 奈央（野島病院）、幸田 真（藤井政雄記念病院）
河場 航　（山陰労災病院）、原田 あゆ美（錦海リハビリテーション）
野々村 賢（博愛病院）、西東 佳奈（三朝温泉病院）
木下 真実（鳥取生協病院）、芦川 莉彩（野島病院）
射場 靖弘（鳥取大学病院）、井上 雅人（鳥取県立中央病院）

## ◎　認知症対策委員会

１．令和４年度鳥取県地域医療介護総合確保基金「チームケアリーダー育成研修事業」申請作業

２．委員会開催(年３回)

(1)研修会企画・運営・受講登録
(2)認知症関連に携わる会員関与状況の把握
(3)認知症に関連する県内事業協力派遣・啓蒙
(4)日本作業療法士協会との連携(士会における認知症への取組みを推進する担当者同士の情報交換会)

３．研修会

(1)認知症研修会３回(西部地区研修１回、東中部地区研修１回、事業・地区課題に応じた研修会１回)
(2)OT 協会認知症アップデート研修

４．事業協力・派遣

(1)認知症施策に基づく各種事業への協力・派遣
(2)認知症の人と家族の会、認知症初期集中支援チーム員会議、認知症施策検討委員会等への派遣協力
(3)認知症支援に関する研修派遣・視察派遣

令和４年度予算書

自　令和　4年 4月 1日
至　令和　5年3月31日

| 勘定科目 | | | | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 大科目 | 予算額 | 小科目 | 金額 | |
| Ⅰ　事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| 会費収入 | 2,732,000 | 年会費 | 2,732,000 | 5,000円×540名、4,000×8名 |
| 研修会収入 | 620,000 | 第18回県学会 | 300,000 | 2,000円×120名、3,000円×20名 |
| | | 現職者共通研修 | 80,000 | 2,000円×30名、4,000円×5名 |
| | | 現職者共通研修 | 60,000 | 2,000円×30名 |
| | | 臨床実習指導者講習会 | 180,000 | 3,000円×60名 |
| 補助金等の収入 | 10,000 | 助成金 | 0 | |
| | | 賛助費 | 10,000 | ㈱gene |
| 雑収入 | 1,000 | 雑収入 | 1,000 | 預金利息 |
| 事業活動収入合計(A) | 3,363,000 | | | |

| 勘定科目<br>中　　科　　目 | 予算額 | 小　　科　　目 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| Ⅱ　投資活動収支の部<br>1.投資活動収入 | | | |
| 啓発グッズ等積立預金取崩収入 | 0 | | |
| 投資活動収入計　(D) | 0 | | |
| 2.投資活動支出 | | | |
| 啓発グッズ等積立預金取得支出 | 50,000 | | 郵便振替預金内にて管理 |
| 投資活動支出計　(E) | 50,000 | | |
| 投資活動収支差額(F)＝(D)－(E) | △ 50,000 | | |
| Ⅲ　予備費支出　(G) | 200,000 | | |
| 当期収支差額(H)＝(C)＋(F)－(G) | △ 175,000 | | |
| 前期繰越収支差額(I) | 4,969,840 | | |
| 次期繰越収支差額(J)＝(H)＋(I) | 4,794,840 | | |

2. 事業活動支出

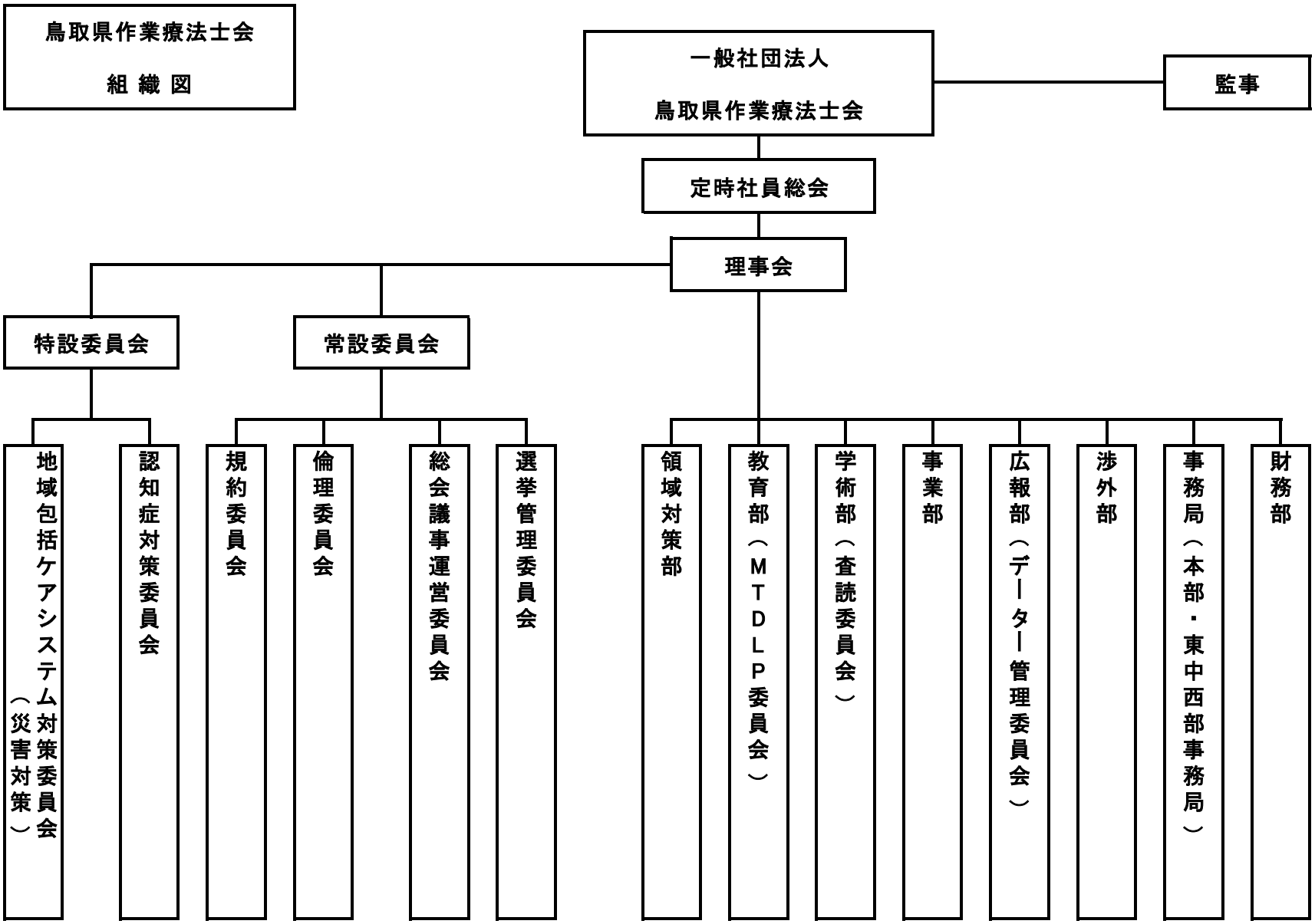
（1）管理運営部門　　（単位：円）

| | 予算額 | 勘定科目 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 事務局 | 920,000 | 事務用品費 | 13,000 | ファイル・コピー13,000円 |
| | | 通信費 | 60,000 | 法人携帯使用料45,000円、切手・振込15,000円 |
| | | 会議費 | 6,000 | 理事会6回　施設利用費（1,000円×6回） |
| | | 旅費　交通費 | 475,000 | 理事会交通費135,000円（1回22,500円×6回）<br>代議員令和4年度定時社員総会10,000円<br>47都道府県委員会300,000円<br>事務業務交通費(納税等)5,000円<br>三役会議交通費10,000円（500円×5名×4回）<br>事務局会議交通費6,000円（500円×3名×4回）<br>代表理事活動費9,000円（3,000円×3回） |
| | | 需用費 | 6,000 | 茶菓子1,000円×6回 |
| | | 法人税及び事業税 | 81,000 | 法人県民税・年間（鳥取県）21,000円、（米子市）60,000円 |
| | | 顧問料 | 264,000 | 弁護士顧問料（22,000円×12か月） |
| | | 福利厚生費 | 15,000 | 電報（祝電）等 |
| 財務部 | 240,000 | 事務用品費 | 5,000 | 事務用品 |
| | | 通信費 | 21,000 | wifi通信料14,000円、会計ソフト年間利用料7,000円 |
| | | 旅費　交通費 | 20,500 | 監査3,500円、財務部業務10,000円、税理士相談時4,000円、納税3,000円 |
| | | 需用費 | 6,500 | 監査昼食700円×6名<br>監査、委員会開催茶菓子代 |
| | | 相談料 | 66,000 | 税理士相談料 |
| | | 保険料 | 121,000 | ボランティア保険800円×150名、手数料638円（440円、198円） |
| 規約委員会 | 6,000 | 事務用品費 | 1,000 | 資料ファイル4冊 |
| | | 旅費　交通費 | 5,000 | 委員会交通費（1,500円×2名，500円×4名） |
| 倫理委員会 | 2,000 | 事務用品費 | 1,000 | ファイル、その他必要な事務用品 |
| | | 通信費 | 1,000 | 切手、送料、電話料金 |
| 総会議事運営委員会 | 33,000 | 事務用品費 | 2,500 | ファイル、その他事務用品 |
| | | 通信費 | 1,000 | |
| | | 報償費 | 4,000 | 総会リモートホスト謝金4,000円 |
| | | 会議費 | 15,000 | 総会会場費（会場代、備品使用代） |
| | | 旅費　交通費 | 7,500 | 委員会7,500円（500円×5名）×3回分 |
| | | 需用費 | 3,000 | 1000円×3回分 |
| 選挙管理委員会 | 27,000 | 事務用品費 | 10,000 | ファイル・付箋印刷用紙等<br>※選挙開催時：別途計上（ゆうメール使用　37,800円）<br>※選挙開催時：別途計上（9,180円） |
| | | 会議費 | 0 | |
| | | 旅費　交通費 | 12,000 | 定期委員会開催（500円×8名）×3回分<br>※選挙開催時臨時招集時：別途計上 |
| | | 需用費 | 5,000 | ※選挙開催時：別途計上（選管5名+立会人2名700円×7名4,900円）<br>※選挙開催時：別途印刷費計上（70,000円予定） |

（2）事業運営部門　　（単位：円）

| | 予算額 | 勘定科目 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 渉外部 | 24,000 | 事務用品費 | 1,300 | 資料ファイル、印刷用紙代 |
| | | 通信費 | 18,000 | 学校（特別支援教育関係）84円×213通 |
| | | 旅費 交通費 | 4,700 | 県教育委員会訪問1,200円×1名、500円×1名<br>YMCA米子医療福祉専門学校卒業式交通費500円<br>筋ジスキャンプ参加者交通費2,000円（500円×4人） |
| 広報部 | 430,000 | 事務用品費 | 27,600 | 資料印刷費（依頼文書等）1000円、WEB座談会用チラシ印刷費3000円<br>その他印刷費（啓発活動など）：10,000円<br>協会より資料取り寄せ費10,000円<br>備品・消耗品購入（USBメモリ、整理ケースなど）3,000円 |
| | | 通信費 | 81,000 | ATM振込手数料500円×10件<br>県士会ニュース送料（ヤマト運輸）13,000円×4回、推進月間15,000円<br>WEB座談会広報郵送（郵便）94円×40箇所×2回<br>レターパック（養成校）370円×2箇所×2回 |
| | | 報償費 | 56,000 | WEB座談会報酬4000円×7名×2回 |
| | | 会議費 | 0 | |
| | | 需用費 | 200,000 | 県士会ニュース印刷・封入委託費40,000円×4回、<br>啓発活動：40,000円（制作、会場、茶菓子、協力者用など） |
| | | ホームページ管理費 | 31,900 | 月額2,200円×12か月＝26,400円、ドメイン更新料5,500円(年1回) |
| | | 旅費 交通費 | 28,500 | 交通費1,500円（総会交通費）、会議（WEB）：500円×10名×4回<br>WEB座談会当日（WEB日当）：500円×7名×2回 |
| | | 予備費 | 5,000 | |
| 事業部 | 525,000 | 事務用品費 | 8,000 | 事業部：3,000円、実習指導講習：5,000円 |
| | | 通信費 | 17,000 | 事業部：2,000円、実習指導講習：10,000円、中国研修：5,000円 |
| | | 報償費 | 210,000 | 総会後研修：謝礼30,000円<br>実習指導講習：世話人謝礼180,000円 |
| | | 会議費 | 0 | |
| | | 旅費 交通費 | 100,000 | 総会後研修：Web日当5,000円、講師交通費5,000円<br>訪問リハ会議（5月）：Web会議日当15,000円（2日間×3名×2,500円）<br>訪問リハ実務者研修（2月）：Web会議日当7,500円（3名×2,500円）<br>実習指導講習：委員Web会議日当12,500円（5名×2,500円）<br>実習指導講習：委員・世話人Web日当30,000円<br>中国研修：Web会議日当25,000円（10名×2500円） |
| | | 需用費 | 85,000 | 実習指導講習：委員昼食8,000円、世話人昼食10,000円<br>実習指導講習：印刷費用60,000円<br>中国研修：昼食代7,000円 |
| | | 負担金 | 100,000 | 訪問リハ：50,000円、中国研修：50,000円 |
| | | 予備費 | 5,000 | |
| 学術部 | 674,000 | 事務用品費 | 20,000 | 事務用品10,000円、学会：10,000円 |
| | | 通信費 | 7,000 | 郵送費2,000円、学会5,000円 |
| | | 報償費 | 127,500 | 特別講演　報償費　75,000円、旅費　50,000円<br>学術集会　座長旅費　2,500円（500円×5名） |
| | | 会議費 | 140,000 | 会場費（2日）　120,000円　　会場費（前日）　10,000円、<br>会場関連費　　5,000円　、講師打合せ会場費　5,000円 |
| | | 旅費 交通費 | 114,400 | 学会：委員旅費62,000円、当日役員旅費22,400円<br>査読：委員旅費10,000円、次期学会：委員旅費20,000円 |
| | | 需用費 | 205,100 | 学会：講師等用茶菓子25,000円、講師・座長昼食8,500円<br>役員4名昼食（2日）8,000円、委員・担当昼食（2日）9,800円<br>役員・委員中日夕食10,500円、委員茶菓子代8,000円<br>花代10,000円、ポスター・チラシ代25,000円<br>学会誌印刷製本　100,000円(送料込) |
| | | 勉強会活動費 | 50,000 | 勉強会活動費・研修会支援費50,000円 |
| | | 予備費 | 10,000 | |
| 教育部 | 222,000 | 事務用品費 | 8,500 | 事務用ファイル、MTDLP：5,000円 |
| | | 通信費 | 5,000 | 振込み料、切手 |
| | | 報償費 | 97,000 | 現職者共通研修講師48,000円（6,000円×8名）<br>事例報告指導30,000円（6,000円×5名）<br>現職者共通研修　16,500円、事例報告 2,500円(500円×5名) |
| | | 会議費 | 25,000 | 現職者共通研修　前期〈西）10,000円、後期(東）10,000円<br>MTDLP：講師研修会打ち合わせ費（5,000円×1回） |
| | | 旅費 交通費 | 46,500 | 現職者共通前期東部9,500円、後期西部6,500円、現職共通2,500円<br>MTDLP：WEB全県委員会（500円×10名）×5回開催25,000円<br>3委員会（500円×2名）×3回開催3,000円 |
| | | 需用費 | 40,000 | MTDLP：食糧費：28,000円　委員昼食21,000円、<br>委員夕食7,000円、茶菓子：12,000円 |
| 領域対策部 | 100,000 | 事務用品費 | 1,000 | |
| | | 通信費 | 5,100 | 切手代1,000円<br>振込手数料3,500円 |
| | | 報償費 | 49,500 | 報償費48,000円　　県外36,000円　県内12,000円（6,000円×2名）<br>講師web日当1,500円（500円×3名） |
| | | 会議費 | 0 | |
| | | 旅費 交通費 | 24,500 | スタッフweb日当（500円×7名×7回） |
| | | 需用費 | 14,900 | 昼食　　講師3,000円（1,000円×3名）　スタッフ4,900円（700円×7名）<br>講師土産代　7,000円 |
| | | 予備費 | 5,000 | |
| 地域包括ケア対策委員会 | 30,000 | 需用費 | 30,000 | 地域包括ケアに関するパンフレット200～300部作成 |
| 認知症対策委員会 | 55,000 | 需用費 | 55,000 | 委員昼食25,000円（研修3回）<br>研修茶菓子30,000円 |
| 事業活動支出計（B） | 3,288,000 | | | |
| 事業活動収支差額（C)=(A)-(B) | 75,000 | | | |

令和４年度組織図


鳥取県作業療法士会
組 織 図
一般社団法人
鳥取県作業療法士会
監事
定時社員総会
理事会
特設委員会
常設委員会
地域包括ケアシステム対策委員会（災害対策）
認知症対策委員会
規約委員会
倫理委員会
総会議事運営委員会
選挙管理委員会
領域対策部
教育部（ＭＴＤＬＰ委員会）
学術部（査読委員会）
事業部
広報部（データー管理委員会）
渉外部
事務局（本部・東中西部事務局）
財務部